

**11/22** 北オホーツク農業協同組合から土地の寄附  
町道敷地として活用

北オホーツク農業協同組合から、道路利用者の利便性向上のため町に対し、JA北オホーツク雄武支所とのびのび雄雄ランドの間の私道となっている土地が寄附されました。

寄附された土地は、町道名「梅小路」として道路が整備されました。このことは、道路利用者の利便性ならびに町政に大きく貢献されたことから、北オホーツク農業協同組合に感謝状の贈呈を行いました。

あたたかいご寄附をありがとうございます。



↑土地が寄附されたことによる感謝状

**12/27** 株式会社菊地組から防疫用品の寄贈  
農業振興に貢献

この日、役場会議室で株式会社菊地組から町に対して防護服やブーツカバーなどの防疫用品の寄贈があり、同社代表取締役菊地裕暁氏から石井町長に寄贈目録が手渡されました。

また、この寄贈に対し石井町長から菊地代表取締役に感謝状の贈呈が行われました。

あたたかいご寄贈をありがとうございます。



↑目録を手にする石井町長（左）と感謝状を手にする菊地代表取締役（右）

↓目録を手にする石井町長（左）、感謝状を手にする片川代表理事組合長（中央）、長谷川代表理事副組合長（右）



**12/27** 雄武町漁業協同組合から寄附  
漁業振興のために

この度、雄武漁業協同組合から町に対して、雄武町の漁業振興を目的として1億円の寄附があり、同組合代表理事組合長片川隆市氏から石井町長に寄附目録が手渡されました。

また、この寄附に対し石井町長から片川代表理事組合長に感謝状の贈呈が行われました。

いただきました寄附金につきましては、町の漁業振興のために活用されます。

あたたかいご寄附をありがとうございます。

↓マンホール蓋のデザインをした役場上下水道課下水道係の横道史也さん（左）、雄武町公認キャラクターいくらすじ子（右）



**1/30** オリジナルデザインのマンホール蓋完成  
マンホール蓋で町PR

いくらすじ子をデザインに使った雄武町オリジナルのマンホール蓋が作成されました。これは、マンホール蓋の更新にあわせて雄武町を広くPRしたいという思いから作成され、今後町内のマンホール蓋についても計画的に従来のものから更新されていく予定です。

また、GKP<sup>\*1</sup>が企画するマンホールカードも作成され、道の駅おうむで配布しています。デザインマンホール蓋も同所において展示されていますので、ご興味のある人はぜひご覧ください。

※GKP：下水道広報プラットフォームの略称



まちのできごと

**12/18** 図書館クリスマスイベント  
工作にマジックに盛沢山



↑来場者参加型のパフォーマンスで会場を盛り上げる KURO 氏（左）

この日、図書館「雄図びあ」で一足早いクリスマス会が開かれました。

午前は絵本作家の堀川真氏による絵本の読み聞かせと飛び出すクリスマスカードを作る工作会が行われ、午後からはパフォーマー KURO 氏によるマジックとサーカス芸のジャグリングをとり入れたパフォーマンスが披露されました。参加した子どもたちは「おもしろかった」「いい思い出ができた」と笑顔で話してくれました。

**12/21** 若草保育所クリスマスイベント  
そりに乗ってサンタ気分

若草保育所で、新型コロナウイルス感染症の予防対策のため規模を縮小してクリスマス会が開催されました。各教室で、クリスマスの歌を歌ったり簡単なゲームなどをして楽しんでいたところに突然サンタクロースが登場し、園児たちは大興奮でした。その後、サンタクロースから園児一人ひとりにクリスマスプレゼントが手渡されました。また、園庭では、めろん組（5歳児）の園児が幌延町からやってきた本物のトナカイが引くそりに乗せてもらい、目を輝かせて楽しんでいました。



↑本物のトナカイが引くそりに乗るめろん組の園児たち

**1/4** 雄武町消防団出初式  
防火への誓い新たに

雄武消防団による新年恒例の出初式が地域交流センター多目的ホールで行われました。

今年は、新型コロナウイルス感染症の予防対策のため規模を縮小し、屋外会場での分列行進などを取り止め、屋内での防災活動に対する表彰式などのみの開催となりました。

式では、日頃の消防活動に尽力された消防団員らの表彰が行われました。

その後、来賓の方々の激励を受けた団員たちは、防火、防災に対する意識をより一層高めていました。



↑出初式での表彰の様子